

日本学術会議（第25期）の提言の取りまとめに際して実施した関係団体等との意見交換等

提言名	公表日	提言取りまとめに当たって実施した関係機関等との意見交換等
学術の振興に寄与する研究評価を目指して～望ましい研究評価に向けた課題と展望～	2021/11/25	○令和元年5月に公開シンポジウム「研究評価の客観化と多様化をめざして～分野別研究評価の現状と課題」、令和2年8月には学術フォーラム「学術振興に寄与する研究評価を目指して」を開催し、外部有識者からの講演、意見交換（評価機構（大学改革支援・学位授与機構）、ジャーナリスト（朝日新聞）、研究支援（京都大学学術研究支援室）など）、パネルディスカッション等を実施。  ※参考：提言（参考資料）審議経過等 <a href="https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t312-1.pdf">https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t312-1.pdf</a>
大学・研究機関における男女共同参画推進と研究環境改善に向けた提言ー日本学術会議アンケート調査結果を踏まえてー	2023/8/29	○以下の団体等と意見交換を実施 ・内閣府男女共同参画局 ・文部科学省高等教育局 ・文部科学省科学技術・学術政策局 ・一般社団法人国立大学協会 ・一般社団法人公立大学協会 ・日本私立大学協会 ・日本私立大学連盟  ○令和元年11月に学術フォーラム「学術の未来とジェンダー平等～大学・学協会の男女共同参画推進を目指して～」を開催し、外部有識者からの講演、パネルディスカッション等を実施。（民間企業、国公立大学、私立大学等）  ※参考：提言（参考資料）審議経過等 <a href="https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t351-1.pdf">https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t351-1.pdf</a>
倫理的課題を有する着床前遺伝学的検査（PGT）の適切な運用のための公的プラットフォームの設置ー遺伝性疾患を対象とした着床前遺伝学的検査（PGT-M）への対応を中心にー	2023/8/29	○以下の団体等と意見交換を実施 ・日本医学会 遺伝子・健康・社会委員会 ・日本産婦人科学会 ・R B（網膜芽細胞腫）ピアサポートの会 ・グループ生殖医療と差別、優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会 ・日本精神神経学会 着床前診断に関するワーキンググループ ・名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センタースタッフ ・厚生労働省母子保健課 ・国会議員（15名）  ※参考：提言（参考資料）審議経過等 <a href="https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t351-2.pdf">https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t351-2.pdf</a>
壊滅的災害を乗り越えるためのレジリエンス確保のあり方	2023/8/29	○審議を行ったIRDR活動推進小委員会のメンバーには、行政機関関係者（内閣府、国土交通省など）、産業界関係者（一般社団法人 日本防災プラットフォーム）等が提言案の議論の当初より参画。 ○令和3年11月及び令和4年10月に公開シンポジウム、令和4年7月に学術フォーラムを開催し、外部の有識者からの講演、パネルディスカッション等を実施。（研究機関（防災科研、土木研究所）、民間企業、研究者など） ○令和5年9月に国際シンポジウム「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2023『壊滅的災害に対してレジリエントで持続可能な社会への変革』」を開催し、外部の有識者からの講演、パネルディスカッション等を実施。（研究機関（防災科研、土木研究所）、民間企業、地方自治体、独立行政法人、国際機関（WHO、UNESCO、海外アカデミー等）等）  ※参考：提言（参考資料）審議経過等 <a href="https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t351-3.pdf">https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t351-3.pdf</a>
自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン	2023/9/15	○外部からの有識者を招いての話題提供及び審議を実施。（警察庁、地方自治体、民間企業、大学・研究機関等） ○令和3年12月に学術フォーラム「ELSIを踏まえた自動運転の社会実装ー自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザインー」を開催し、外部の有識者からの講演、パネルディスカッション等を実施。（地方自治体、法学・心理学の研究者等）  ※参考：提言（参考資料）審議経過等 <a href="https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t352-1.pdf">https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t352-1.pdf</a>

<p>未来の学術振興構想 (2023年版)</p>	<p>2023/9/26</p>	<p>○本提言は、科学者コミュニティからの自由な発想に基づくボトムアップを重視し、研究・教育機関、学協会、日本学術会議会員・連携会員及び若手研究者から広く「学術の中長期研究戦略」の提案を求め、それらの各提案内容を学術研究振興分科会の下に設置した未来の学術振興構想評価小委員会を中心に審査し、一定の評価を得たものを分類・グループ化して「グランドビジョン」として策定。提案の募集に当たっては、公募説明会を開催し参加者と意見交換を行うとともに、公募に際しての質問・意見を基にQ&amp;Aの公開を行っている。</p> <p>※参考：提言（参考資料）審議経過等 <a href="https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t353-3.pdf">https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t353-3.pdf</a></p>
<p>新型コロナウイルス感染症のパンデミックをめぐる資料、記録、記憶の保全と継承のために</p>	<p>2023/9/26</p>	<p>○外部からの有識者を多数招いての話題提供及び審議、ヒアリングを実施。 (公衆衛生学、博物館学の専門家のほか、地方自治体の保健所課長、内閣府公文書管理課長、国立公文書館上席公文書専門官等を招致)</p> <p>○2021年6月、2022年6月、2023年6月に公開シンポジウムを開催し、外部有識者からの講演、意見交換等を実施。(地方自治体(保健所を含む。)、国立公文書館、県立公文書館、学芸員等)</p> <p>○学術会議内においても、パンデミックと社会に関する連絡会議と連携を取るとともに、第一部の各委員会からも提言案への意見をもらった。</p> <p>※ 参考：提言（参考資料）審議経過等 <a href="https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t353-2.pdf">https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t353-2.pdf</a></p>
<p>革新的医療製品の評価技術を迅速に適格性認定するための5つの提言</p>	<p>2023/9/26</p>	<p>○令和4年11月に公開シンポジウムを開催し、外部有識者からの講演、意見交換等を実施。(内閣府、厚生労働省、経済産業省、各種研究機関(AMED、国立医薬品食品衛生研究所)、医療機器メーカー、製薬会社、病院勤務者等)</p> <p>※参考：提言（参考資料）審議経過等 <a href="https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t353-1.pdf">https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t353-1.pdf</a></p>